



どうとくだより

富陽小学校

2025.9.30



今回のどうとくだよりは、2年生の実践を紹介します。

教材名は、「きれいに なった ずこうしつ」です。教材の中に出てくる「北村さん」の行動を通して「勤労」「公共の精神」について考えました。

働くことの意義は4つあると考えられます。一つ目は、生活するためにお金を稼ぐという経済的な意義。二つ目は、何かをつくり出したり文化を継承したりして喜びを感じるという生産的文化的な意義。三つ目は、自分が属する集団や社会を支えるという社会的意義。四つ目は、自分が人間的に成長することに喜びを感じるという人間的な意義だと考えられます。働くことによって、家族を支え、過去から未来への渡し役となり、社会を支え、自分自身を成長させ、それが喜びとなります。

このお話は、図画工作の授業の終わりに、ごみの散らかった図工室を北村さんがほうきではき始めると、それを見た周りの子たちも掃除を始め、最後は先生もみんなも「ニッコニコ」となる、というお話です。北村さんの姿から、自分が掃除をすることによって、教室がきれいになる喜びや次にこの教室を使う人の気持ちを思う心が感じられます。最後は先生やみんなからもそのような心を感じ取ることができます。

授業の終末には、「みんなのことを考えて、自分はどんなことをしようと思うか」について、思いを広げたり、話し合いながら考えを深めたり、さらに、自分自身を振り返ることもできました。

教材名『きれいに なった ずこうしつ』

【あらすじ】

図画工作の授業の終わりに、ごみの散らかった図工室を北村さんがほうきではき始めると、それを見た周りの子たちも掃除を始め、最後は先生もみんなも「ニッコニコ」となります。

【授業のねらい】

・働くことはみんなの役に立ち、自分もうれしくなったり、成長したりするということが分かり、みんなのために働こうとする態度を育てる。



学習後のふり返し

今日、勉強して思ったことは、北村さんがみんなのために、働いているから、ぼくもみんなのために思って、働きたいと思いました。どうしてかという、そうじとかをしたら、自分も良い気持ちになるし、友だちも良い気持ちになると思ったからです。

めんどくさくてもみんなのためにそうじすることが大切だと思いました。

ごみが落ちていたらひろいたいです。わけは、みんながスツキリするからです。

これからごみが落ちていたら、ひろったりそうじをしっかりとしたりして学校をきれいにしたいです。わけは、みんなが良い気持ちになるからです。

私は、クラスをさらに素敵にするために、クイズ・なぞなぞ係になりました。もっともっとおもしろいクイズやなぞなぞを考えて、みんなにしてもらうことで、クラスが盛り上がるいいなと思います。「おもしろいクイズだな」と思ってもらえるようにがんばります。

ぼくは、クラスみんなが気持ちよく楽しくきれいに使える教室にしたいです。なぜかという、みんなが気持ちよくかえてこられるクラスにしたいからです。

私は、そうじをしようと思います。どうしてかというと、教室がきれいになると気持ち上がるからです。

人のために行動するのは、いいなと思いました。だから、ぼくもくつをそろえたり、トイレトペーパーが空っぽになったら補充したりしたいです。

私はクラスをより良くするには、朝学習係を中心に、みんなでかん字が覚えられるようにしたいです。なぜかという、漢字がいっぱい書けるとうれしいし、気持ちが良いと思うからです。

私は、教室に入ったときに、「ステキだな」と言ってもらえるように、イラスト係として、素敵な絵をたくさんかきたいと思います。

ぼくは、みんなを笑顔にするために、スマイルだじゃれ係になりました。もっとみんなから大ばくしょうをとりたいです。

